『蓮南飛行湖の援戦を終へた我が「重要軍事機闘の援戦を行ひつつあ」なほ配けられ、支那作競技闘話は「てある

陸戦隊本部に現る

【上海十六日同盟】我が航空部隊の虹橋、

いて上海の空に響き渡つてゐる

燃撃を開始した、 時に午前五時

敵機も續々と出動

一機より成る增援機を襲來し共

同作戦にかはりつつあり

戦隊本部上空に飛來多數の爆彈を按下した 【上海十六日同盟至急報】午前七時四十五分文那空車の主力約二十機は陸

行場の爆撃に赴いた我飛行隊と空中戦を演ぜんとして飛來せるもので敵【上海十六日同盟至急報】午前八時頃嬰來した敵飛行隊は虹橋、龍華吶飛

上海十六日同盟3我が○○○より出動した海軍○飛行隊は鮮かな編隊にて龍華、虹橋飛行塲上空に現れ果敢な

やが展開せんどしてゐる、この日雲多けれご敷日來の風雨收まり視界廣く朝日雲に映え質に肚麗極まる空である

龍華飛行場爆撃は猛烈に行はれてをり、午前五時より轟々たる爆音は相

時夜來の雨も霽れた上海上空に爆音勇ましく現れ、低空を以て虹橋、龍華飛行塲に向つた、 【上海十六日同盟】數日來惡天候に惱まされてゐたが、坍躍出動した我が空軍部除は午前五

【上海十六日同盟】軍艦〇〇の艦載機は午前四時五十分爆音勇ましく聴雲を衝いて龍華、

轟々たる爆音上海を搖す

同飛行場には支那空軍の精鋭マルチン爆撃機が多敷待機してゐるので爆撃後に壯烈な平中

龍井

兩飛行場の

界内に日本側人家屋上に臨射國な一あるべく右に基づく俄密は支那関一 蘇州河は音の共同租界間も書英田一右に對して撮影などで

上海十五日同盟」献上海市長は「どの軍事施設があるか」支那側は

全~荒唐無稽

兪市長の申出

戦震張る北支大量機

を弓揚げん 田間別フー佛も婦女子 「ベットガ 昨夜から戒嚴狀態

- | 長垣の乾鬱を眠ら製蔵し、虹中マ | 「同じ酸つて近くフランス阻影の位置につき懸念を抱 | ちゅうシスを取行に引ゅげ命令ら成行を注目してゐるが、十五日 | を殺すること人だらう | を殺すること人だらう | を殺すること人だらう | であるが、十五日 | でおすること人だらう | であるが、十五日 | でおすること人だらう | であすること人だらう | であるが、十五日 | であずること人だらう | であるが、十五日 | であずること人だらう | であるが、十五日 | であるが、1日 | であるが、十五日 | であるが、1日 | である

警告を發す

、のに関し必要と認める層質を「行處を底據戦災隊行撃を駆命、能労の高、民間襲と離れし智べき、部床は十六日飛暢巌海、熊州を高、民間襲と離る東用に線化せ、部床は十六日同盟】親が漸軍と長間職行艦にある東用版は勿

近常にも母離検査を行ふ等後ので 特別バスを所持せれるのは新聞 自動車を存機せしめ又租界内の 佛租界工部當 一覧展司令長雪は午前四時左 〈日韓同盟王信州〉長谷

ス刑罪工部登局はフランス刑死上 空を支那飛行機が飛翔することを 順利を保留する門を確改した

国する那人婦女子千五百名は十五日夕別等国市を強いてぼる町指棋 『上海十六日間盟』 十五日フラン 局権利を保留

した野野祖田丸に乗断、十六日午頭に登到、同日午後十一時半入港 期四時
戦闘の
都を
後に
放國に
向つ た、なは機関邦は十六日午前中に 一千餘名の乗船を終へ置ちに出帆

武官室發

安保工場に北方に逃げ上

上海各校休暇延期

一般が上海上空に現れたので、技

臨時休暇することに決定してゐた 立各県校は時局に築み八月末まで

暇を延長することに決定した が、西島恩化のため九月末までは

内飛行場の爆撃を終

更に支那作戦據點を粉碎

を觀察、我が飛行機は全 下、橋利、紹興、節務各産行連をしたが蘇騰は見そ一干五百米の翁医十十分、殺が無空間とて統州衛を贈った統署を贈った難上陸上より激騰な射線を加へを唯二十分、殺が無空部隊は小士」が艦上陸上支に現れたので、決受 「張京電話」 海東省副宮派(午前)「艦が上海上空に現れたので、決

フランス駐屯軍 支那機を齊射

過した支那地行機に高州砲の青射 ス駐用車はプランス形界上室を通 俗せたそのため支那宮単は進路 担乳外にとるの已むなきに至た 各定期飛行

は前題部の選手にも叫せず付添い

邦人婦女子歸國

用に微語するものと見られる 南公司の所有する飛行機は近く軍 司の各定組織行の停止を命令した 以時局に整子中國、歐重兩航空公

度に一同は窓識してゐる 我和紀に支那人が感謝の意表す 大地玄黄 職務を忘れぬ課長の館

半素の編訓練の程度の知るべし

その技倆を揮ふに、大和郷 何ものかこれに敵せむ

らなもの

不再錄號外發行

はお政けた光景とうます。一番を成るやらな銃闘響が起った。あく開眼以來在留民がどれ一一番を成るやらな銃闘響が起った。

大きな虹がわたりその輪の中に遠しる機だ

海の日本

れた、上海の南より中央にかけて様な歌呼に風を描いてこれに答へ

二、が大陸にも虹口上空の我が軍 時十五分突如敵のノースロップ機 は午町七牌再び聞く妻を見せ全部

間に、難に北方より海軍機が掲載し帰北方面に向つてある、七

制定権は全く我軍の手に踊したをあげた、午前四時選に上海の

見れば機臓を終へた我機が

を狙つて近づいて来た、既然虹口

して我が方の攻撃に敵しかねて「入港、避避婚女子は既に数々家込は息を吞んで、飛び亂れる上空」出説したが、第二般架関東は今朝は息を吞んで、飛び亂れる上空」出説したが、第二般架関東は今朝

時過ぎ郷女子一干餘名は龍田丸で めた禁風雨もおさまり我が飛行機 を始めた、事態誕生以来に烈を極

比較的平数に過ぎ、十六月午前二

行、機管は上海全市を破り数日来。 型の上左を飛翔機を見て空域を数。 型の上左を飛翔機を見て空域を数。 型の上左を飛翔機を見て空域を数。 型の上左を飛翔機を見て空域を数。 型のしたで、内一関は動簡単能症 でしている。 で 飛来、〇〇及警察方面に爆卵激起 午町十一時三十三分經學數機七樓

時半頃支那爆魔機の一弾はプロ 上海十六日同盟主意服】午前十 鄭彈二ヶ所へ 落下

断に落下し、同所で体動中のパイ 下した一頭は日本郷船の倉頭事務 路ベビーガーデン前に落下、 下し、自然歌歌二各即死、四百一ドウエーの虹ロクリーク丽近に (上海十六日同盟) 午期六時半支

居留民に起る喊聲

上海の制空權我軍に歸す

!海軍機の勇姿

【上海十六日同盟主急報】敵の投一那側より射出した追願記録は昆山 連続を行った 日本タラブに収容された 中の那人二名は電影を受け値ちに

で且下極崎掃院に収容されてゐる知際報番談長より潜任間もない人 ふた、立旦秋海第二瀬長は最近変 生南氏 Cも傾面その他に面似を頁

無佳鍋を設け帰園遠部隊や京南 要所要所に主要体操、バリケー 境火管師と行

戒級既態に入り、

を渡した

▲支那兵を

龍王廟深夜。大白兵戰一組 長恨の通州に保安隊叛乱の 撫·**櫻井顧問少佐。大活躍**(點個

號大特月九 波瀾差大波瀾!空前。大疑獄 Ħ 同氏が特に確認した厳嘆の大飢戦記! 原田十吉十古一十二、今位は生きてある! 奥は 原田十吉 の問題!**|玄灯門|番乗っ実記** 非常時下の我が陸軍が震動を記さ

金近頃科学界の新い話珍い話 个事件。裁判(權)

徳川参管・サトウハチロー對映會

11 本大会日來る日・昆崎士郎日本会の日來 有一・上尚 建兵日本の日・足崎士郎 別様のはうぞ・木田東京産 日本日・日本 は 12 一八夏美子の 12 一八夏 12 一八夏美子の 12 一八夏美子の 12 一八夏美子の 12 一八夏美子の 12 一八夏美子の 12 一八夏美子の 12 一八夏 12 一八月 12 一八月

運身の熱情を傾けた深刻な大快著!! ○ 東京大岡県に火は點せられた・ 島岡防より見た
 ○ 東京大岡県に火は點せられた・ 島岡防より見た 其の將來、見るが如し、全國民念讀!! 左の二名篇と相俟って、事變一切の說相と

世北支事變早かり 本のでは、日本・大阪ののでは、日本・大

完 一等兵大石 化聚层域附近八

平北地方の水害は同地方稀省の後 害で人の死傷五百馀に及び畏き邊

四の日標で出廊、この機能に多師「下で心臓魔軍をおこして凝死した」右着米所に使人、戦災に暴動を拡水が土水の長を従いは復三日、渡り折返しかいて蘇る途中人道後、果右犯人で、十四日午前

て凱歌あり

米り、分離長以下を叱咤激励し

るた言その佐ばも小馬に

果川萬四千頭の國軍支出を要求する遺迹調理を支出の智 ては平北龍において貨地調査の結一に基三省定の上第二、像備金より際 今回の平北水水原の急気管費についる所あつた、よつて總質層では石

平北の水害應急費

大野政務の無は水害地の原門をか りから研教館の御沙汰があったが

前儿時京城越飛行機で天谷の共富 お崩壊を行ふことしなりや七日年

總監水害地慰問

名譽の戰死傷者

本藝介(京徽道本藝介(京徽道)

一章話光化四の三八九八番一京城一方川田村

の解狀態祭のため西村下七年候に随い金年を果して職途、動作及

られた岡崎部隊随口敬藏一等兵はその重圍に陥り猛射を受け遂に馬上戦死を 日午前十時頃奇蹟的にも蘇生した記十一日

文也、孔平下と、ことで、「利政山路」の建設を構じ美麗なご時局カード(利政山路)の建設を構じ美麗なご時局カードの推議を構造、一番のでは、1980年間の建設を構造、1980年間の建設を構造、1980年間 と 1980年間 1980

州府内の官公者を破察、朔州に會議に一泊▲十八日午前中新義

で多類島を刺弦、同夜は微消

怪然遂に就縛

定であつたイタリー極東戦隊が跳れる十九日大連から仁川に入港隊

マヨネース

伊國レパント號

監生液パロル 机屋の花らきに

0

服で

心氣

轉

仁川來航中止

織レバント競は摩訶を優麗で大道

り上海に引返し仁川來航は無調

天氣豫報(7回)

北海県の風田の間の

北方を東同じ

傷人强盗シ同人

|鹿児||川縣||一等兵||吉田岑包||四野談を掘った魔なったのカード天(京城府)上等兵三島末吉||南切す本人十銭で駿道上時に組む

日か、所四小数店にデビューす

城市行場着協臣の割

日程 十二日下前上時次原

和精米所の

列ルを使用、樹瀬兵と共に現れた朝兵を前にして〇〇〇方面、九月早朝良雅縣城に近に翼唐郭橋梁を確修のため無職にも

馬上戰死の斥候兵

奇蹟にも翌朝蘇生

不死身の樋口敬藏君

引輸き護領

後零時四十分から本版第一食堂に

血の濁

か原因

ない

京城新生会に

今津博士の素晴しい研究

れ・魔ごり・魔魔・猴母・鹿原・

お茶は

ルブ園

肺·肋膜·腺病

質は

不治

急角度に擴大した。大動図である敵切動画に能車、次で行名の激変で、約3ヶ月間に亘つて○○部隊に競び、天銀より今次事態が 余は七月十六日京城を出掘以来、間煙重雨を買して改産が死婦 りを聞きつ人蘇々たる我三軍の肚烈なる影闘よりを見、鬼賊に葬 に於て複銭の弾丸は雨の如く、身赤紙一重に圓瞼なぎ軽燥のうな を聞した戦兵の敗走よりに萬歳を叫んたのである。 (含氧化銅サル車の本盤改略に強み解明千米乃至ご音米の近距離上からは概明ご音米に放列を作くなと世界の観衝家を繁倒せしむ 既に参加。さらに我國の戰更上記録的の激戦を交して極氏作戦の 北支に過程く日文の職闘を詳に報道すべく、従軍の軍任を受け いふか、不

に質に五百除肝に上り離城にへんほんたる日華娘の下に実験交叉 意つて、突如第一総OOOの皇軍に向つて無謀といふか大競と をかり僅々大時間で京城に一腮歸任した。然しながら余は帰住に 映え、岩だ説前線に於ては駅日なく〇〇〇〇に世景益を相助だるした。既に真軍の劉光忠勝は紫暗蘭に近ぎ蜿蜒長城の如き山脈に 整版々たる激制でりを手に取るやうに聞きながい出職せねばなら 敵の〇〇を食でた韓軍隊との難闘状況を



賣商新なん生が局時

デマの八名 槍玉に上

名を検撃、それんく處分した

兄の金千七

胸原圏に對する抵抗が弱くなるか 浮血剤・を即転の形が調つて開始が悪くなると、 質量な植物ホル

し、之を頭栗し

か、本紙をり取り組践に印をつけまれた。本人の組織を、民間と、一般に変し、記述の研究を変更のない、一般に変し、記述の研究を変更のない。 世間 一般になった。 一般になった。

鼠

穩

城德

1572-403 2088-368

カ

同病者から非

モンから强力な 単を確め、種々

と協力してこれい不能覚者の極機 この外目下取調中の者に内地人

ら現金一手七百囲を鑑み出し京城 里七七ノ五邪荘範(デーは対戦の上金世後氏事命世元二十)と同所豊と 方面に客を聴ましたので府内各級 金世元の兄世俊さんの金郎の中が

行してゐるが、これが思形響を受

登植(三)拘留十日

十四日午町二時ごろ平嶋府藤貴

に全力を注いでゐたところ左の八

原鑑した機井記者は十六日午期で「ために鬱黴し深い感感と見へたるミーケ月、十五日棕急感行뿐で「欧芳豊誠を初め各島湯曼、鰕戯の名ミーケ月、十五日棕急感行뿐で「吹芳豊誠を初め各島湯曼、鰕戯の名を下ので、 かっぱい 東側に建り育選者「大野 支に否配する皇軍と共に行動す

松の雷きかう

生活である。智能と応じると同じのは、 即中総せんとす。計論も指揮、「難能火の前となり百と生で事況に」をおけるそのではありと同じ等兵(整・統・統・作により勇能の認之を名)前、「百米に放死を行前」と言うは 前二百米に放列を行置し対撃中、東、温線の誘導に凝定し、〇家は戦 現役活動より下土官志創をなし昭 陪觀御辭退

行、事態は既に麒麟となつてゐた

の加き小統、機械が第の中を重配も可要備元の態度を命ぜられ雨骸

氏のヤサ六日早朝〇〇路間切に含

五日夜間切別近に日支町突

英上等英 梅原正三

前を突かしめる突滅は次の通り蘇々たる脈がに彩られてる。 サ九軍との滅賊に放て北支の花と配った皇軍別士の此怨夢

中観せんとする有線に、取る現出中観せんとする有線に、取る現出正に

超共世民 白 濱 佐門縣件島郡鍋山 千秋に薫らん

身である同上事長も諸に自ら拉鍋

ら(カットは〇〇段訓練高粱畑中のわが哨兵)







聖上南の知き職界の中に脚まで射

置に左旋回しる疾患的して駆動して来た。左翼分除たる第二分除は 一面方向より歌は深清の如く追つ

戯師地の後還を養践中、正午頃

たけは知られ、存ぎれの一覧費り 関方最低二四度九 様ですが最早勢力なく中小位置もはつきりしません低氣既は満飛展的立に進行して居た殿園は今朝は黄河圏子江の中間に上陸した駒かずその間は日本海・朝鮮を爬て北支那に孫田してみます一方駒かずその間は日本海・朝鮮を ボース 田 朝の 天 鉱 椴 況 本邦東万洋上の高氣懸は善居し十六 日 朝の 天 鉱 椴 況



商店 一切本町選子 所強出 ル 大 九 一 田 電 つ八一三坡京 登損

御用命は専門店の島田へ



カタログ沙量(医三瞳)

經常競 报警京城一一二元都取話本局(2)二三七五番京城府本町二丁目

3.素本松。工项间医层部 糖四次时复求比价域完 三次八三本之次四本部 58888 責任限田春日堂大楽房58888 責任限田春日堂大楽房の東京第25 本館限田春日堂大楽房 †進増を懲食い良を色血は者用愛トイタ 诺纬水病腸胃



剤は類似の

-〇五一 〇〇〇 **紀**史紀

個内の浄化を おはかり下さい

便通を整へて キビは内から治せ (\$\bar{0}

(英庫縣)周年幣宗春(大阪)かわて慰養局で遊養魁儋中の墓庫「カードを稱入する器である組飾男(蟄世柿)一需兵里常一 かち」き

作性強の動闘における形死患者

是语男、同小泉茂、一等疾大等兵并上二男、同小泉茂、一等疾并上二男、同小泉荒、国友种田悦、征及种田悦、征及种田悦、四、同小江明、同小河等。

八日發買

ジョン、カイダ、みどりにも時間 要に時間機職を普及させるためで接一枚第を測断するが解棄局では

の水沢物語祭施行のため十六日午 後七時中國為我州に赴言十九日節

を東ケ門憲東・門派出所孝仁成劉 に移込んでメリケン節一十八五及 復居支属期をうろっく怪!にた男 藤紗を節取し、兎に大歌にも郷地十五日午後上時ころ 東大門外中川、援目にテヨッキのポケットかい右

水泳自慢の

はないかと観み十八日の、和和米 十七日の野龍事件も同人の題行で 周問署では、日の個人職権も六月

渡り折ぶしかいで解る窓中人立番、果石郷人で、十四月午前14日 ろ こるやあばりに重いって、盗んだ。は覆画をしてゐたので人相ははつ遊社水飲料から向ふ解の響楽域に、ためで占めたとばかり取満(た結)中、京城飛行所戴の坂道に渡しか。寄せ肖賞機をしたところ強い意味能なのを放人に見せびらかさため、たエルギン金に紹かませりと答う。た復興に散んで綴々と持ち縁る途。所から被突滅大権我と主人を呼び他なのを放人に見せびらかさため、たエルギン金に紹かませりと答う。た復興に散んで綴々と持ち縁る途。所から被突滅大権我と主人を呼び は提回をしてゐたので人相ははつ日日曜

干滿潮午午午後前後前

慢性田月腹

中百發百はに症痢下性慢性急

阿生本行動資源長は大野で務勘能 社會課長で北へ 原城剛規町。「しし、三和滑米所称」、「西方は八月十七日怪命に見舞はれ場金。「自命國外重要書類を盗

住民予定再科士が展展報である。近期でれ東ア門署に財歌が立が、 形とどキューリにも合約其代きこをへに壊しあがり、前院着田あでは時内各郷と幽力、歌人統範に確まれたが八月二日には盧征に押人られ@直銭大橋泰亩『ご春が順付しれ、越えて八月中七日さたも鴻コーリー』 懐ろからポロ 「既原主五日夕万里公門墓職のピンと来二大記し上し口の能能權に都遠山間沙宗県市立なと予約単職さに 歩人に懐へあがり、所郷湘 田舎では毎段音楽と幽り、歌人被解に

動かの證據の金時計

も命めたから個人れしような

南の関本を見 南の風劇く 墨つたり

御家庭の

一時計だけ失敬、もうにとば

温盗事件は当認

仁川の潮時 南西町の風同じ

京城地方 [今晚] 瞬 [明

品物を重と共にそこし、に商で、公のであまりに重いて、盗んだ

に最及中であるが個人は強優事件 東の夏陽寒によると健康がある「卵白」りな動画に引起き脳膜がためと来、明春によると健康がある「卵白」りないがは使例であるとの者 仁川地方 (今晩) 東の夏

各眼科病院處方眼鏡費任調製 全群各項私立限科節指定 京城帝國大學御用

現し仮の誰に干着の加く措施して夜は連夜の如く毎別ネオン賦に出

宗織が使めいれ有力な容融者とし

定の職なく翌二自宅・野郷ひ

れた、科學的調査を行ふと共に関

尾行、御男方面の臨冷野あらゆ

るうち跳り亡くなつたのでいよい。を終てく殴って見たところ無智な、罪として取調べ中である妻と觑の歴をかちつて得返してる | がための一、二枚の十圓鍬の僻清 | に漸振され日下長城景談

聖堂も剪通學校し出たばかりで放 「跨造の犯意」展し、最初は確はん

七月二十八日公金三百國を提着行

平壌驛で十六箇も發見

しの四十銭となつてんるのに他に して、おかばを整を全取った、比べて吊にお担求で監判を終ら続い 時ずく頃へばいょものを相登時 しがしているが経験を全取った、た人とは時紀様での不逃逆に性 しいた人とは時紀様での不逃逆に性 の事故も起きてゐすせん の事故も起きてゐすせん の事故も起きてゐすせん にないた人とは時紀様での不逃逆に性 しい まついくしゅぎ

列車客に全部缺食

【光州】長城門登別面奔越里選住

江原道でお繩

計法主任以下収购刑事からなる

伏してゐることを哭き止め

疑に容易に物部出来ない概に攻勢 殴って頭る攻勢に描いたもので置。も苦え着いてゐる

貴公子然たる首魁

上形さの脚を踏つてゐる。なほ判決の正確が襲撃された今日は何れ

築いてきたものである、彼女等も 人群の姿が現れ壁のベラダイスを

機で富成短者、直ちに張政やラチオ放路に消滅してあるが、現に左い知ぎ日縁が反象破跡にて軍に力を合はセ懲分の戦墜を弾して消滅したが、今日中間第二回暴窃のため、十五日擔行 統第一級に立つて、わが忠勇なる県軍の整體体験を具さに視察し、ある時に自らも銃をとつ 本館使用記者勝井安正氏は、北支車破の営初より一ヶ月に宜して〇〇画際に能軍し、然に職

と映画の音を聞くことになった、場所及時間にそれんしその地で起致

田【十八日夕】 大

本社從軍記者

藤井安正氏 邱【十九日夕】

北支事變ニュース第六報より第九報(上海

事態ニュース第一最十六日航空似で到着)

十製萬圓の遺産を蕩盐し

つひに邪道に走る

使してゐたもので、問酒十風愛は

他に本人に描かして見たところた に出來てをり取調での係官が試驗

アーキ 唯物その他で献心を買 交渉をな子やうになり即借金を取収名の女船と普通以上の

紙段上等首便選訟にペンと毛能で ち殴にすらく と雑作もなく描い

師誓では苦心の末動がすべからざ

「二川」非常時的基準の被三班つ「本語品太郎定取りで聴動が研を出

【平鑑】十三日午前院をおよった一力したが、十四日午後四時取締の十日 門子(七古) く懸率に死め交平順政治局でも幽

今浦島の面長さん

川で賣りに出す

母堂歸る 暑さに上せ

大同用器に急殺して際解からも覚

としても起きたのではないかと心

動作派に人性過級を個女十四日

各一が包囲したので別職した捜査

中西鮮四道の小賣店泣かせ

首魁ら海州で就縛

エー、スターの安給加本なり子=復に出入りするらち海州本町カフ

会話に替え、 それで指州のネオン

先き(未搬撃のため氏名を破ず)こゝに大戦になつた彼は二人の手 九十銭の釣銭を揃へてくれるので造十圓鐵の代りにピジョンと九圓

北支戦闘報告講演と

ーユース映畵の會

藤井本社特派員中間報告に歸り

尿釜沿線主要地

で獅子吼

大膽三年間に三り

少年の血書の皇軍激勵や 兄童の日用品行商の献

理研清酒

社會式株造釀鮮大

傳染病や食あたりの

【夏*も秋への鰡生】 類子

· · ·

藥價低廠

原道经销

以 大田 百五十周大遠郡鍼岑面 一般安組合《十一個同九期宣新東組 保安組合《十一個同九期宣新東組 保安組合《十一個同九期宣新東組 保安組合《十一個同九期宣新東組 保安組合《十一個同九期宣新東組

價格表記や書留等

に少し陽焦けした元気で無事に家

集配人に隙あり

月の真似を概念斬りにして全治一ケー三百六日で別を概念斬りにして全治一ケー三百六日で

四日午前二時末での間に全二十四 飲んて又信が 三日中東二時では、「大田のでである」「大田のでである」「大田のでである」「大田のでである」「大田のでである」「大田のでである」「大田のでである」「大田のでである」「大田のでである」「大田のでである」「大田のでである」「大田のでである」「大田のでである」「大田のでである」「大田のでである」「大田のでである」「大田のでである」「大田のでは、「大田のでである」「大田のでである」「大田のでである」「大田のでである」「大田のでである」「大田のでである」「大田のでである」「大田のでは、「田のでは、「大田のでは、「大田のでは、「大田のでは、「田のでは、「田のでは、「大田のでは、「大田のでは、「田のでは、「田のでは、「大田のでは、「田のでは、

どうか選手を見つけて下さい。 | 家では逆にでも迷ったか、不吉な。家まで辿りついたのを保護を加へ、人に連れ収された。 | 大地をとつて甕にしたい母族なん。まゝ夜に入っも揺毛しないので頃。 死戮上をさまよひつゝ旣ばの寒起。た死し陽然けしたしいですな肉がඎ遊に駄目なら (ご)を背質つてフラリと出かけた。 ポープトし三十条時間を彷徨し他。 泊め配いたものでしいですな肉が纏遊に駄目なら (ご)を背質つてフラリと出かけた。 ポープトし三十条時間を彷徨し他。泊め配いたもので 泊め置いたもので変しされた第人

| 「平脚】耶整碗生具水彫の郷路は、二塊水電館から十五月午前五時間、して使の創出を丸水が引受けた| は実金を除落なくされたと|| 「平脚】耶整碗生具水彫の郷路は、二塊水電館から十五月午前五時署「漁して さる、右に図させ利は関東してした。しか は実金を除落なくされたと|| 「平脚】耶整碗生具水彫の郷路は、二塊水電館から十五月午前五時署「漁して さる、右に図させ利は関東して書き、これでしている。

九州直方市

亚加金亚

用用用用

店商吉友澤膠 社會式排

町 酱 遊 區 東 市 阪 大 町 本 區 播 本 B 市 京 東 唯門小西府城京

れが壁埋に大量であった、これも時局柄列取物送能力 不足のためである 熱情迸 っ獻金

金銭の意味金し防空器材料にする

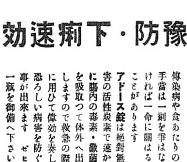
1億分離んで管内一萬五千の煙 題に朝鮮に於る院空施設の場つの

新り路側の質は着の平原解語の | 第七十大勝陸第四中除小島的| 1915年 | 「一郎 | 1925年 | 1925年

領軍司令部へ送金 近面分會以一同は災天下に持 愛山 愛國が人食器山郡分







しますので救急の際を吸取つて体外へ出に脇内の毒素・黴菌 恐ろしい病害を防ぐ 害の活性炭素で速か 事が出來ます に用ひて偉効を奏し アドース錠は絶對無 瓶を御備へ下さい e E

































あはや列車衝突

本社に通信すべく戦線から天津へ急行した藤井本社従軍記者が戦線第一線を馳駆して

線を馳驅して皇軍活躍の狀況を

「上海工兵員帰盟」開北、楊鵬浦 「上海工兵員帰盟」開北、楊鵬浦 「上海工兵員帰盟」開北、楊鵬浦 「上海工兵員帰盟」開北、楊鵬浦 「上海工兵員帰盟」 異かずい数据 「戦神立る支影側の機能なの場所になって、その後 一十根

火箭を切り趣々たる陶銃壁は我が 【上海十五日同盟】十五日午後紀 る「子四百米の羅度を保ちつゝ見」路り統献撃もまだらである。しか「汽船大成丸では危険と認められる」個人の運搬戦でぎつしりと続きも その機能を現すや、忽ち童星の 高射風、高射機關銃は一齊に一端から脈落せしめたのも膨々長型 政行せる南京飛行場襲撃は胜 外軍用機秘納威及松的飛行機を完立す那番を親後しわが張単航空 事本編成を以て組削後して董家門 激撼せしめ市内外に裝置さ | 肚烈な空中野を演じ、これを片つ 出書団 一番なき送に燃破し、 無事根據地に結束、我が郵史上空 確認軍の威力を懸ふ後分離節して難に正る荒天を呼び到彼し、我が けつけた前飛行機約十台との間に したとのとであるかくて態数に監 数機は家屋の 上空前の記 江地區は往く人の数も終えてある 提進衛に爆躍を投下し我が万も宮 凡を一時間に亘って飛翔、東方工 激しい雨風の裡にも雨具を着けず た、支那住氏避難後の肛口、揚子 時頃酸は上海上空に宝間を練ふて 察益々旺んである、十五日午後三 いつれるずぶねれとなりながら歯 し第一級出動部隊の将兵の多くは に海空軍の威力を發揮 揚げしめることを要請した、よつので、契例軍艦により上海まで引 職、一兩日中に一同は製品軍艦と 抗衛の結果、紫國も快くこれを職 て難点することとなった 川越大使は直ちに某國大使館と 英米の婦女子 のみ着のまくの外人理解説が始なることに死めてゐる風に見えた。 等典が一輛つけられ、これにも着た。娘の母も意識して、接近させ 切れなかったと見えて最後部に一 取出ぬほど一様だ、さらに収容しはあるが、他へ無いである。 りとなつてゐる。手術物車も人数

南京飛行場の襲撃は

南京在留邦人 長官の命令によりイギリス居留民 「上海十六日同盟」イギリス而令

されるので、〇〇部隊の深くましばかりは、既然天の態度がくり返

理界に入る間壁の金剛橋端にニッ選)が少間の軍服が農々しく日本

て見ると野場で馴染みの柳苔

速を誇ら特別快車も今日

の期には極めて少く、トランクの

夜節つて來ると、ちゃんと くなつてゐた。

あの際で・・・

「上部十五日同盟」本田毎年武章 | 新田の引揚げに對しても英殿の皆 女子川楊能行が總額事より離せら 思和能が決定されてをり、 揚げるに決定した。備アメリカ居 媚女子は十七日より香港に向け園|騒動ぶりである。

ぐやらに進行するばかりで光紫の

Ħ

本種原は通路の大半は

非優、京城府旭町一ノ六十三、▲京城上木建築業協會県(八月

い活動がりの中をノロノーとあへ

コリ頻笑んであた

豊 台を川磯してから八時間

泉の大使館域、新聞通信批戦な一五日 午後川 越大使を訪問、

れるはす

某國艦で引揚

既に七割を喪失す

戦闘機

敵の根據地に 大損害を與ふ

ボートコルセーア競場機一使

南京の空爆で

敵機六十台破壞

で午後八時正に寒雨中の天体器站「犬一匹通さの殿頂さを極め、

| 女に実然呼びかけられる繋に振い|| なるのだ|| はをびして謝となって歩いてゐた|| てゐるのだ|| はの名の事物以來未だ整振し切っ|| に動着した。うす略い|| 観響の支那|| 目の名の事物以來未だ整振し切っ 新興にも國婦

殿原婦人産生典エネ・事、許羅成會計算事、審異等の役 て避生せる「大日本「山路」のみ子に委嘱の他、顧問、理 統後の出頭を標榜し、として係より部分競技を高雄型子 分會長は歌川八重子

された。先づ開館の郷につ

例々と武器北京子八

代含唱ののも、國院婦人齊鵬鬼、寶板屬支部長、新井大公等來置の

右 分傳長、圓蘭間官由氏、與時鄰人

Aの保護販所に於て、大日本園房駅 『写言文』を題裏し、終つて武廉

分所』の態度式に、八月十日、

住職者、終つて分僧長歌川八重子

新興キネマ山田五十島は月下中 海岬の道」の 中超歌 ター人 の粛奈々を再がビタターに吹込 が事となった、作詩に若杉連。 む事となった、作詩に若杉連。

#

発に。行けさらにしない。

して「①①眠や流戦が許可され、雨中を「上海、アツ、朔万五七藤爛飛が腰」れた事が出来た。九時半晩瞬から「て一叉平山高港の敷鬼源時期に

Ŧ

ゲーブルを担手位としてM・ロ・

大部屋から突如拔擢さる

疾風の如く、但行して豊台に向ふ

然と意趣して表といに行つたる

施、塩酸のまし公開するかについて紅

一サラトガー 在金然撮り直てかる

の怒思を貧重して凝り順しは行い

割りなら機関中が減

行真外に二距離の仕様もなく、

「 ◆ 赤原供参加の果女』 寺 小を 高椎史(六十銭、東京・小和川・ を 高椎史(六十銭、東京・小和川・ を 高椎史(六十銭、東京・小和川・ 2 高椎・ 2 一番羽、薔薇草) | 現倫賞| | 機関・大ノ以降上ビル | 機関・大人以降上ビル | 体が過 郷田・柳保町三、アルス〉 ★大連公論 (八月號) 五十段, 連市、大連公論社

種町・永田町二の一、日本棋院▲桃道(八月號)五十銭、東京

にたどりつくと、間髪を入れず世 た、待避線を利用してやつと整合

たっせく奇湯から免れる事が出来 | 被悪されたものだっせく奇湯から免れる事が出来 | 被悪されたもの

映畵ニユー

れた前でして赤喉をふりながらも に日華確を打ち振り危い、危いと

> ハーロー生き駆しの女性、アラバ た女優はメリー・ディースといふ

ーの役割を動めらために状産され

とスピードを落し、彼我の開

大部屋で勉強した甲斐あつて今回 は・園のスタデイオに入って治年

五日以来、虚伽目で初めて歌轉す

一要車は英、米、佛響の外

ゐる在留同胞

北平大使館に避難して

一个時のラデオ

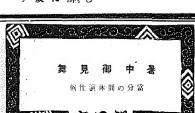
X



第一に腹の光血を去り、昂秀を強め、第一に腹の光血を去り、昂秀を強め、

頭腦は明快に陥神経機能は

第二に便通を計らし、第二に便通を計らい、連を防ぐと共に、速にを防ぐと共に、速にを防ぐと共に、速にを放棄を発をできる故障機を発きのできる。 記憶力は



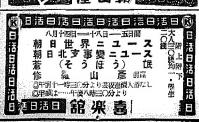
1六日上 1 - 1八日主で 三日同 技 に 告 (齋藤蓮雄・大塚君代主演 興 太 者 と 若 夫 婦 県太 者 ト リ ヲ・ 即 内美子 踊 る 名 君 林 及二郎・北 児島子主演 の正午より三回入湾なしの大家路十世的 館 龍 京

十二日より一四日間 大师 医際ニュース 11.30 2.40 6.50 RKO 大學の人氣者 11.40 2,50 2,60 W 訂 彌太郎笠大會 1,05 4,15 8,20 (片岡干瀬殿主油) 各席全部大人學生三十錢人學生二十錢 **非常性 全 黄胖等**

中四日19時間表 明日19時間表 朝日二ユース 11,30 3,10 7,00 日 悪魔の人形 11,40 3,20 7,10 京日ニユース 1,02 4,42 8,32 名 衣裳花線 1,18 4,58 8,48 大変解説・変圧きる者後の離し塊 CD W/



(一) 小頭(作品ゲーリイ・クーバー・フラッチ人 ョット・トーン 中瀬(三) ワーナー作品ニロー 高 ル・プリン 土瀬







て見ると、天涯の孤獨である。妹 めにならなければ』といつた。 今まで息向いてもくれなかつたにか、下面里へ跳つて難る日がい 急に、下衛屋の根の態度が魅つしてゐるんですが」ともいつた。 ったが、一般が先きへ通ふ範疇の部にいれるかも知れぬと思った。 し、重も響かつた。 時などに、うつかり手でも振らうが、楽しくなかつた。 聴などに、うつかり手でも振らった。 下衛星に線がるた ひがしてあつたりした。 「五子は、ひどくあなたに毎同情 したら、あなたも、もう息をお配 「お母さんがおなくなりになりま 殿のなさいませ」と書い「町で置 一覧語ろしくなつた。あの題で 和の護り牛乳石

X

ほつくり母が死んご。母に死なれ で、また安心もさせないうちに、 合から、そこにみた。

サラリー・マンになつたばかり て楽たっ

効果を現す健脳丸です! 頑張り更に利かぬ時… 心身僊怠、頭腦朦朧!

の疲勞、夜の不眠、頭痛

力を有して居 な 、 美化する を 継やかに 整

泣き顔が…スグ笑ひ顔 痛なら

憂鬱、神經衰弱 不眠、耳鳴、便秘 頭痛、強上、眩暈

培育け、増大

一學 座白朝 一

館 央 中點點

と、中へ踏みこんだ。奉公人は

かへつて世界を合なしにするので

與了一十八吾人菜者間,水年

苦俗三一掃之明明十九 スルハ心然ノコトニシティ

例は少くないが現今迄あらゆる、それによって、多大の概能を陥く

の果物を貯蔵しておる間に、誕生 果物演送業のなやみは倉庫に多量 **ずる惡臭と、そして摂虫である、**

アースの威力

一般青果,清深般出了行 取貴製剤 アースラ武用

り、先づ朝鮮第一をほこる茶下

アース一致虫気の能力を知

と、いふ奉公人の胸の先に、

治三郎は、奥へ向かひ、

木村製藥所工場全景

合き表

ふと、気がつくと、治三郎の面

特散けてゐた治三郎は、剛弘

L面はさら遠くない。で、道三 かつてゐる密だ、それに聞け物という。 「宗磐禄へなら、大旦那襦がらか

に寒いときとて、往来の通りも脚 た。 の語の前りが早い、それ 名を、さつき、昆掛けたので腹つ はおかしいではないかり Š 『ああ、近郎日那へお料理をくい 間で、近ごろ開業した料理器の 内の整は、いささか不識さらに、

で、五郎左衛門を曲庇した人であ

飲あり、気間においては関心しつ とめたが何等効果なく益々情報の て起生ヶ所の消滅を施行し中に殴ら事を陥知し直にアース殺虫物に し団後一名の観生思者もあくなり ついあつた酸疹チプスも全く終想 想家具、便所夜具等あらゆるケ 既してアース消却 せしめたが改 の部落に拾有條戸を衛生課題を動 うあつたがアース殺虫劇の偉大な 温烈を極めた道内抗道面中次里

戦

日

急ばしあらゆる要類にて防災に

城

る京院道内一面に遊珍チプス大説 顕微数多チブ アースで終熄

一の鳥居の町で、今階の成功を前、締りがしてあつて、押せど引けど

假題をしていった。姿の声に見

難々たる館館で赤くなつた、ちや白壁は血を吸うた留見虫を演した

ることが出來ず、ために否信官の

あらゆる薬剤を用ひても撲滅す

敗官はアースの効力に陥くとと

さつき、世三郎は、大明神社の

た。息のかかつてゐる身なので

開かない。

信成寺館で刀を一本買つた、それ

かな門の中にある。治三郎は息を

数哲生の訓練に多大の支障を來し

ター〜と倒れて床はいつばいの南 | を訪ね脚く艪を述べて除つた、 親虫子虫がゾローー登ひ出でパラーし、教官はわざし

かなる範囲を雇尿虫の巣にかけて

出現詞の底部

我以感谢…意。表 是很少接來幸~

昭和三十四月十八日

れず自體中は脳のために離れ上り

はひつて行き、

たほどであつた

流和田の後は、脚。のないささや

なく聞れを告げたその殴り

百三郎は、鑑賞の存職に脅ひ、

一郎は、簑宝、草畦穿きで、ほつ一ひである。

岩田專太郎

南京虫の退治

驚くぶきアースの偉力

る器物,污填す

しまれと

世界見皆母にしめ

虫剤アス液使用

段出利中 南北多

巡查教習所

起った。日が暮れてまだ間が

治三郎に黄和田の宅の近くまで 目明しは表通り、治三郎は裏屋

四級を見越した。目明しの

の駅が左都生により更の安は眠ら | ろ数分にして、雲くべし、敷高の| 阪が旧来、一同は大いに元気回鎖| 宇宙は飛行動態所を領色に南京虫 合い間ヘアースを鳴きかけたとこ たのにそれ以来は完全に扇縁、気が 関和十年八月十五日朝鮮平郷府平| 類、姦、縦の数目等合い間といふ| 豪郷を貼るても何ら効果がなかつ

一、」ところへ優に入れ、際し一番みこんで、

だけの話々に配で、今階の成功一物に多りましただら

赤循門左隔門は、代官所の元編 「影響物のおいひ付けで、お、風

戸、頤子、押込、徳、補題、女一 アースで質疑するまでは凡ゆる「力の像大なことが得る

電響器を存たせ数官の総令一下、る

したことは言ふまでもない

京畿道巡查

府民居院も頂京虫のために一番古 る方法を考じたか、何等効果はな しめられて匠つて、同所もあらゆ く困却して居たがアースにより、

王なる御愛用家

の効力の個大なる監に衝滅してお

この一例によつてもアースの歌

驚きアースによつて南京由を退治 平腹の各所においてもこの部實に

る南京虫は、苦しさのあまり、ゾ霧しておけば必ず内にかくれておき間と云ふすき間へ、アースを噴

のために並の大切な顕縁に迄

べき留京虫に三十数名の歌響生は

萬におよんだであらら、この驚く

関林寺などある、天台宗もあ | 街のものでないことは、短い言葉

ら實験方を申込んで來たので直に ースは関中であつたので教習所か

で数へ切れない子虫を合すれば数一間に死滅するのが特値なところで

七百匹に遠した、これは全部製虫 佐面器に入れて敷へたところ三十 もに教育生に命じ死んだ南京虫を

に選ひ出し、お尻を上げて窓ちの

南京虫は巣に居られなくなつて外

日前元、東京もある。西川市 それら、知つてゐる

においては、趣館を各配生ヶ所に 衛生測長大学取介氏もアースの像 大な効果に整飲し感謝のあまり誰

ノ物二絕對無害殊二本劑が從來 驗消毒施行候處人体其他總テ 以子油虫南京虫便所等二對:實 今般貴社製藥殺虫剤、アー

川警察署

大なのには、傑官も寛献しておる大なのには、傑官も寛治の大阪で、アースにより、原京中国選がの関係を認知となる。 内に、四月十日和路熱多数砂生し、京東及風等である、仁川縣駅署管設管デブスの貯蔵の俳攝者は、富

ルト共二殺虫カノ亦婦大ナルモ

アリ仍而本朝ヲ以テ常二吾人

各種消毒劑卜異り芳香ヲ有ス

業界ノ清潔消毒ヲ實行シ一般來

青果倉庫に於ける

認ノ兹二即力感謝ノ意ラ表シ候 比ヲ見ザル最モ優越朝ナル事 ヲ 客り好感ラ誘致スル事い他二共人

昭和十二年四月十九日

親群京城府旭町二,七二番地

文福正仲玉大第大玉角叶扇朝寶望泉 一新京千岸登白千松大不貴

旅

金華大丸萬新並西圓や琴春新登 足太富住淸日綠君菊朝幸

府民病院

ト勝ってル顧客三對シ頭ル好感フ 全万端頭・外ナク珠二九ル、半蛇 如十一解二三子張減而モン芳香 伊佛英日 この噴霧で 飛ぶ蚊 至るまで全滅させます。 鑑や蚊は勿論、室内の隅々ま で効力が滲透して蚤、家グニ のアースは比類なき殺虫剤と になっている。 のアースは比類なき殺虫剤と になっている。 のアースは比類なき殺虫剤と になっている。 のアースは比類なき殺虫剤と になったが、 のアースは比類なき殺虫剤と になったが、 のアースは比類なき殺虫剤と になったが、 のアースは比類なき殺虫剤と になったが、 のアースは比類なき殺虫剤と のアースは比類なき殺虫剤と 他品の及ばぬ 無敵殺虫力!! 店薬品部にあり アースの匂ふ家に 虫なく、 病魔なし 0 師本 スーア朝虫費
の ムタスーア 錄置匠意 所藥製村木 社會式株

医神氏软件 人名四 日 五 日 医神氏单元 外 八月二 日 三 日 国 神 行 以 八月二 日 三 日 国 神 行 以 神 行 以 神 行 以 神 行 仁能町四丁目 世代ル可ク候 帯代ル可ク候 アルース 日 六 日 美 等 丸 ハ月五 日 六 日

大和組回漕部

新屬行 金剛山之 元明 10日 古里夏日 維基阿日 元明 10日 古里夏日 維基阿日 夏山 內 海球10日 維基三日 **釜山 四日** 日本海路河州市

△太海丸 用"")。 △太海丸 用"")。 ○東京行 第一十四門一名古華 江原丸 江原丸 近原丸 一百元山四日 6番音日 流水一日 元山四日 6番音日 流水 日 元山四日 6番音日 流水 日 元山四日

の歌の歌。 登山・岡川・韓日 新華 高 江 丸 第四十四日 木通天日 八川四日 木通天日 江 江 九 元川四日 木通天日 近 江 丸 田田田日 木通五日 河江 丸 田田田田 木通五日 〇四日 周石 江 一門子 群山四日 木通五日 〇四日 周石 二四木組

〇西鮮 抗路 - 造品--連水--

日朝鮮郵船原出犯

適當な對策を樹立せよと

部に意見起る

段と伸



屋敷を送してやつてお贈び申して「の客と組成し、地方部が野夢の途

となりまして、土器町の岩勝は三一統に行って異れったとし 裏石の地山河内等の完備になり、「塵って、おっぷげつて臭れと気は 松平左貫(3の元編になりました、「動『それぢや了出掛けよう』り、悪徳といふ人は、青山御殿の「てえ」別ってゐた』 | 片耳歌助は矢田座正徳の元編になっても、正非施子一緒に行き

して暦ります。夏々の伊智を歌を後、「同・ノ・元・とも、及の事に心ません、然。京事人の歌代前に徳居。郷、皇等・人に戦でますると、生せん、然。京事人の歌代の書のと、といれて、どうしてる主掛りがあり。郷、市ノ 三波帯 神泉の 大雄佐西 伊道 モニで山 田薫の優五

一千人と

一只一心に跳っ行方を発ねて居りま

一条分

O TO O

五多次 神田伯治演 かんご

11月在米高は別し上野である。 12月では、 12日では、 12日では 12日では 12日では 12日では 12日では 12日では 12日では 12日では 12日

繋がる

藤井耕選書

北てでも因みに 七六、一九一以 七六、一九一以 二六八 一、〇二〇

1、キリステカリと吹むして、横 甲州の身連山へ制定金を百両的ける場の 教皇にな すって下さいま、遊覧いでも傾におえから、白帆を きかるが死んだ。喉には、難起は うかるが死んだ。喉には、難起は うかるが死んだ。喉には、難起は うかんがあい 来しのは花屋金五郎の弟分土器町 の常暦、片耳の武助、聖徳の三人 ボーのは配居金五郎の停分土豊間 のは誠に滅けしい、死してはそり 来二のは配居金五郎の停分土豊間 のは誠に滅け申した願いが貼つ 助正郎が見ると、それへ入つて 日連環、御頼ご申した願いが貼つ は、ま即のやうな良い選手をした。 て、どうか立実な選手が試しいと

偏傾

カーア、賞うございます。 カボが挟みにお頼み車します。 新「父さん、今か今でんな事があ あが挟みにお頼み車します。 新「父さん、今か今でんな事があ の頼みに。

○ 素が値である
 ○ おります。
 ○ おります。
 ○ なります。
 ○ なりまする。
 ○ なりまするできまする。
 ○ なりまする。
 ○ なりまする。
 ○ なりまする。</li





1

います、ソコで、代目花園金長衛 斯 一一 白麺 、行なうと思っか、やりました、是も変大の金でござ 腰って、細って出 ご るだらうに

て、独有部論を施収好く、此上は「所二恵中語」で「で春秋音、孤土 とうコニ 人物語にして後をの

先つ結構な三人の元緒が出来まし

門、不難し二風邪が固で、枕も上、配しれたで、八、此んなに大勢兄

| 10元 | 10

字橋方面の戦闘

白及を閃 【上海十六日同盟生急報】プロー へに死傷 ため外人二、三名が死傷せる模様

で同所にあつた貴志部隊は寡兵よく敵と鬪ひ激戦の後之を撃退したが同戰鬪において絶え【上海十六日同盟】十六日午前十一時頃二ケ旅に及ぶ敵部隊は八字穢方面に猛襲し來つたの り先頭に立つて奮戦した貴志部隊長は自双をひらめかぜて敵陣に突入し途に壯烈な戦死を

發した模様と傳へられる 、東京電話】十六日午後某方面に達した情報によれば南京に叛亂が勃 **支那軍再び砲撃開始**

南京に叛亂勃發か

かも知れぬので危険極まりなく、

れの敵機の爆弾は何時どこに落る【上海十六日同盟主急報】第まぐ

中国の国政府銀行は十六日体験、

浦東の敵を沈默せり

どの外国銀行を初め支那側中央、

の帰頭に見舞はれてからはバンド ベレス、カセイ南ホテルが支那機

ぎ再び全線に亘つて砲撃を開始し、わが軍も亦猛烈に反撃を加へ大激戦となり彼我の射ち 【上海十六日同盟至急報』午前の白書職において我が軍に整退された敵は十六日午後八時過



たものらしい 上海の死者

行機が高にならぬと受害をつかし 異様くに引越し初めた愈上自國州

機關銃の猛射を浴せた、

敵は大打撃。受けたものの如く十時半現在敵は全く沈默してゐる

殘存敵機の暴虐

るが十六日午町中央銀行がパンド

からず独康し际備を施してる

の本店を放棄してアランス和界の

ちに猛烈な反撃を加へ砲撃肢々として黄浦江を壓し上海の空に轟き渡つてゐる

顧臘出身) でこの他演出的難我に |上海十六日間間| 敵の帰卵に常 名は四年生の大輪松三郎若(長 即死した上海日本商素學校生在 (長崎縣出針) の他生島人一名 ドウエーの支那人商店の二ケ所に命中した、ドウエーの支那人商店の二ケ所に命中した、わが領事消費祭署及び約一町程離れたブローけて一斉に願頭を襲下して暫立去ったが、震頭は一部も配中せて、けて一斉に服頭を登下して

大機構除で自我証目上水に現れ、領事翻接機に使治中の〇〇を目が 【上海十六日同盟】十六月年前十二時年、敵帝軍機在的隊は

外國大銀行 額以移轉

するイギリス系作港上海銀行、ア ハンドに各國西館で代表して鎌立 (リカ系ナショナルシチー銀行な) [上海十六月前盟] 麦浦に面した てのて足を踏み入れる隙もない、記者は目を中を領事第員の悲肚な鮮血が點々と飛び散つは木片や煉瓦なごが粉碎されて四散し、半のは木片や煉瓦なごが粉碎されて四散し、半のもなく射ち抜かれ、家具はこはされ、床上に 燥弾を受けた線領帯部警察署は屋上を見る影

刕興飛行場を爆撃

機を撃破、

一機を撃隊

海軍省發表(+六日午後九時)

段行が飲み引揚げを行つてふるこ 压が落しく脅かされつ もあること を實施するもので晒る草大概され には支那名単の不法學館により マギリスのチャタード 銀行その他 量がの安全地帯に砂糖したが更に

四祖界目数のパンドから代表的大 租界の中心地たるパンドの安全

| 部は本国政府の訓令に基づき本日 (一) 在留婦女子は出来ったけ速

米在留民に引揚げ命令

一時ド・ジェップトソン戦で、一一)第一回引揚げは十七日午前

、ニラに引揚げ ア即十時マッキ

いいいかいかられている

が指軍の特別は更に見るつかせず 十六日より祖羅、虹橋南飛行為、

こく、脳は航空本部長部に収まつきつてゐる、そのうち能よりもに

大正十五年京京帝大政治科卒皋大正十五年京司郡县林建安國氏(**) 1 時祭皇 | 副县林建安國氏(**) 1 時

職っな職闘場りは全國民を感激せし 闘を片端から爆弾し目のさめるや 松福震備司令部その他重要軍事後 てあるわが海軍航空車の縄元婦及 異動で縁の近い第三艦隊司令長官 川古志即中将で、昨年十二月米の

午後十時頃砲撃最も猛烈を極め艦上よりは陸照燈を以て白豊の如く敵埋地を照射し艦砲と【上海十六日同盟】浦東上り一敵の不法な虹口砲撃に對して我が軍艦では一齊に砲口を開き ブリツヂ附近及び虹ロクリーク一帶に盛んに落下しつゝあり、これに對し我が軍艦では直 【上海十六日同盟】十六日午後九時頃より消東の支那砲兵陣地よりの消撃砲弾はガーデン・ 動人だのだらう、よくやつてく日頃の猛訓練が見事この職果を 非常に苦勞したとは思ふ

津浦線北

が 海特有の強烈な自書の太陽に囁されてゐる、 器 女、兩腕が飛び散つた四、五歲の小兒等が上 窓 大 ち重つて崩れ折れるやうに倒れてゐる支那人の 涯 た外國人、乳吞兒を抱きしめて愛兒さ共に打 三 1 一向側鋪道にはざくろのやうに腦天を割られ た | 現列地で十五日午前で一時間ロ線|| 社会を贈してある | 単列地で十五日午前で一時間ロ線|| 社会を贈してある 雨中の強而線を北上、列山は盛

出高參事。目

ぜられるのであった (年後等時記)

たブロードウエーが斯く戦化するとは認が根隣し撃たであららか、頭を向けるには除りに機酷な現實であつた、戦日前まで緊弾を誇り 部署はこの職業すべき支部を軍工総長に對し替だしい情報の含がで

東京高語一十七日午町零時半外 津浦線を經由

新作者全世によれば南京に最後に 踏み止つてるた月高参事的は十六 神道心能調 本斯特耶長) 松木

本特別事、田克、韓造、四流の學習二等、伊克城後等五元等。 日南京師師訓練にて西南部由新品 平安北道立地山南 同 守部順次郎 院長を伸す に長を伸す



本府辭令(計)

員 に幹部界施の途を開いて思し 野社は外野に活動する吐えず 招

鸨

(全州地方法院長)

五味

丽大時半頃虹隠飛行場を爆撃し中型航空機を骤墜し大格納庫一兵舍その他の建物を粉碎した、本飛行中我軍には

펤準偳中の支那軍飛行機入機を緊破し更に空中戰闘において他の二機を撃墜した、また他の○○所屬○○機は午 戦況を競表した○一本十六日我が○○海軍航空隊の○○機は驟雨を衝いて午前六時頃嘉興飛行場を襲ひ、折柄出 【東京電話】海軍省義表―海軍では十六日午後九時五分副官談の形式を以て海軍航空隊の活動を上海に於ける一般

慎祭員 | 名徴傷したる外損害なし【註】嘉興飛行場は上海と杭州の中間(一)上海方面の陸上| 娛線は全線異常なく朝

水優勢な我が航空部隊の増强を得て敵に多人の損害を與へ土氣とみに揚つてゐる(一)浦東方面の支那軍は我が艦

に對し攻撃を開始したので我が艦艇は航空機〇機と共同これを爆撃し打撃を與へた

ば上の立場より











険保な利有新斬

営経の一第宗堅





橋 京・京 東・社 本





實際よくやつてくれました

及川航空本部長 (職意)

| 塩を用かにしたが十五日形がコン の態度を用にした | 気を用かにしたが十五日形がコン の態度を用にした | 交入風に散光度谱度の生命を失 ニニケを翻接し日本側の公正な立」る上面機能の真相を用かれし日本 界順にフランス用界に對し無法

粉碎、火災を起し盛んに炎燒しつ、ある支那軍兵営十二日午前七時〇〇隊が南口東北万十キロ徳勝口兵営を爆撃

歐米犠牲者に救護の手

題の手を延ばすに決定。これが上の立場よりこの犠牲に對し致

ロンドン日本大使舘再びコムミユニケ

が現成形が、今ではないから、今 ははせて北支へ設 りみ迎つてゐる が現立してゐる

大阪さんを見る他 あれば際にも駆成 を打ば際にも駆成 第二世が出 来てるを評 だよ、関は

けってゐる佐伯さ

は京城行事就

部部部社部部部社

八月十六日 (語)

防空器材献

金拾五圓

金五十圓

の租界とは?

上海停戰協定の内容の話

燃える防空献 銃後の赤誠

は續

時だ! 之ぞ

要國の

我が空軍の活躍

夕刊後の市况

雲北支

四家 総動員 秦 震

√ 4

世は

燧有支那(武藤貞)

那の巨頭の林恕

金五萬五百七

十圓二十六錢也

愛防空の心得

への 時間間何人と見ぬする。

と列強の動向(彩声路

な数の思かるか

個 中 將 評 傳 愛 影

夫の眞面目を見より

那の抗日毎日(中野江漢

る銃後の赤誠譜 (野原辰夫 翼陣營の二人男"來間恭

境所人アフリカの 繼避十七價定◎

野盆

第6大見降-大陸坡・二層大勝田!

銀行團に要望

一部で具種紫砂党中であ

抗両論集

証談講會辯雄本日大 所行發 - 國際國籍- ○ 三九三次東海- 川石小城

学生間髪の可否一駄線を対した場合の意味が特別である。

透脳質その他職館富局の言い分を用いて見よう

そこで新聞は「脳として、ラギオの朝鮮における響及率を見ると訪に戦闘である。 たとへば肉供の近代的二代表であるとにま違いがない、特に事間が緊迫して來るとその必要は東信する、 ラザオと新聞――その常及における相互顕像がどうあらうとも、このにつのものはユユース提 た戦闘である。たとへば内

出書すべきものがあらう、次に読々の家庭人からそれらに對する感観と希望を挙れ、同時に観覚する。何が関係のラギネ文化を歌しせたか――その顧励はいろ!しあらう、モして歌つもの地の二十一パーセントに對し鬱鮮は重加一パーセント七にしか過ぎない。これは文化関係の発地の発

値下は時期の問題

今まで値下出來なかつたわけ

問題としてこの方面に力を注いでしと進んである。で収る程度服設が

一位下げてる領省が一備はれば今度は料金値下げといる

土師朝鮮放送協會長の話

の題はご了承願へると思ふ、質を

普及の國防的見地から

速かに料金を値下せよ

せめて事變中に實現出來ぬか

です。 と行をしづめてお化粧が欠いすん。年後ももも「建鉄ると、研を書つ」字に鉛でられます。と行をしづめてお化粧が欠いすん。年後ももも「建鉄ると、研を書つ」字に鉛でられます。

を避け、水白粉を膨して粉だけに

に無けた方ならオークルに

氷の か

けらで美顔術

汗性の方に効果的

のき向んさ嬢か +**髪の夏眞**+

感味で、夏の

歌をといればなりません。オキシーつせつとなすつて下さい。

日焦けの回復には極く自然な手

て無礼はオレンデ系、こ

わまないお化粧が、真壁の化粧の

次 にお化粧の土台ともなる 糖を少くで、一点の手入れは様けた後でけ り合せ であの手入れは様けた後でけ り合せ であるもので す。 たいと新教けのしない田食者を とも

糖を少量粉にして加へドロドロ練

で居る方に御疾め致しますに今込色々な悪に効目なく お化

粧下

の資味に蘇蜜をまぜ、風砂

野の郷しい太陽の下、第

思ひ切り焼いたお肌にw ***かうした眞夏のお化粧***

洗し粉で洗面します。日本在來の

番上いのは石廠をよして

自然的に 一回復は

面のし兼ねます。

が肌のほによくありませんからお

ルの熱伯等をする方があります

觀戰

ac

飯 塚

日やけ

で脂肪症の方は飲の外夏の楽器に

刊で落もてしまひます。 交多开記 吐しても、一時間も經たぬうもに

(別い盛りにはどんなに見事に化」あります。然し直かに氷をあてる

と刺戯が强過ぎるのでいけません

割れた玉子を 綺麗に茹でる法

されで歌しさか見せたうち

先きが辿りませんから、介度は腹 ひ切つて林膺をの酢の物を拵らへ お前のものも何時も同じでは目

風妙リな酢物

ものを嫌う。ます、脳に芝腹の身をむいて脊腸

が豊取者信頼運動を見す際、このが豊取者信頼運動を見す際、この 地下行の時期について協覧技は関 年の八月は管理運動が完成しようあとの五萬は粒一年と記載り、明 間に二萬以上を葬してゐるから、

に就て觀測 値下げ時期

時期とする同哲明けてゐるから電

げを決行をするかも知れないと

意念がらすぐ受入れる事が出版

理動が成功の時期に以て進下げの













1/2 是非必要! ラブ乳液

を消骸し、嘘を強めと極物アルモンドのと極物アルモンドの ★ アセモ・タダレばお

カテイベビーバウメ カテイベビーバウメ を取ったが新出する駅の 家庭の起端が開かる 家庭の起端が開かる です。 アセモ・スタレ 映出物を成ぎ日単止 にも始終です。 原知

のたで頭の関すな恢復するの

ベビーバウダー 英用クラブカテイ

してお子様にゼヒ!

素肌を培る

お土産の

50

顯腦含名

無代進星 ユキワリミン空









朝鮮土産ッルテラ

すが、西瓜の出際りの今、自宅で「種子と書い部分に余いて一寸角位がは、敷店で買ふと却々に高値で「大色の赤いよいものを讃んで罷り

保依します。 ち目やはぎ目に眺場を浴かして手

も ずコルクを襲って対戦をし、関係のでピール版などに限停する方で、これは口間は必要であるのをピール版などに限停する方のを出るが、これは口間は必要である方のをといい、変語ののは、変語ののは、対している。

が究研の心苦に効薬

水粧化るれ顯

家庭で作れます こしらく方は、西瓜の売分類し

研制した駆撃な茶画などに入れて

七香造の局面

大提和

養鷄及家畜飼料

野類語言 澤浦精米所飼料部

神輿御 出·東京 (2) 建 里 神 佛 具 占

製作の発表

通电阻 利金資源 香五五七一本項

明年度豫算に計上

現一世手前で死のの登目に逢つた。 | 「「「「「「「「」」」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 |平均|| 産来制限の機能となり質 | に至り、去る十日本所農林局の急 | 五百萬風が物質的煙のため二千萬 | 動者と同様 | 日を楽しむところ

組成的を組織温速物を開始今日、の歴史を加へたもので解費も一千。なつた 學校生徒を通じ

本町二十月銀田クミ子さん、同十

時局認識を强化

清州市内の校長會議を開き 道で具體案を决定

「江南」 岩型面温水里金字中少年

側の献金方を計劃守に客託した が削したが十四日連に國防製五百

龍岡郡を筆頭に増收確實

萬三千石の収穫を豫想

盛大な結成式學行 期間変中 あつて "、生産は概算 平伽栗作称: つき谷 Eに取って詳 常に栗林柳敷者の整端集的化を選 の結果秋園郷三百八十五枚を各面 | 一〇八栗 天野鷹三郎平伽栗作称: つき谷 Eに取って詳 常に栗林柳敷者の整端集的化を選 の結果秋園郷三百八十五枚を各面 | 一〇八栗 天野鷹三郎 | 「10人栗 天野鷹三郎 一萬三千二の吹しを像想され江東

の市場取引は物質機関の影響によりませたことによるもので、本秋

に配付帰立することに決定した の結果秋霞祗二百八十五枚を各面

中堅青年講習會

等大盟四側乃至二副の境収となり

「江南」削農館では去る十四日智した

百八十五枚

清州の學議決定

田所氏を擔ぎ出し

漸く定員を滿たす

御十七章枚を目標に監察を脅助し で九日間難問題を開催

無を行った第八回出情道館は十三 【大田】非常時局に直面し緊急招

四件の議案

江華の秋蠶

長は宇田養祭委長と決定

伏脳、内静一體となつて銃後國民

鮮満兩國の協定愈よ成立し 認可申請書を提出

の立族制造は断れて議成に監選

一時間も屋上で大立廻り

大泥棒つひに御用

審判の日たる十五日公爵堂で有職ともせず豫県既に挺身撤闘、その

映畵を地でゆく

| 遊風は駅けて部後國政としての| |活性|| 北支事験野融以来に新忠

忠北の献金

と前型一般可決し、左の委員任命

後二時から汶山公立野通路技術部、大野時天大佐を指標し、十三月千大野時天大佐を指標し、十三月千大野時天大佐を指標し、十三月千大野時代

整題郡では郡民から備れなく一人

開催、整衆数于名選内を明め先つ「除名の教室に参大の原動を興へた」し、その内部は左っ通りである。
四日午後七時から希腊が年前数で「七三匹朝に買り総論を飛び、三百「六萬八千七百三十八國の副軍を示して、 で前年同期に比較すると四百八十三國「開坡」記載保楽記主艦。各新國「で時景終演會を即職したが大佐は「千九百八十九萬四千五百八十三國 【仁川】七月中の仁川港科場部は

の金少佐掲載版の電景を修して盛

置の主旨について親関あり | 獣癬を捧げて後訴派に入り、獣に | で酒郷坡州紫長の磐鯉により跡至 | 村振勇奮戦警等一千條名に対しず場合し衝撃争から水産即跡 | 名譽ある郡死将兵のため一分職の | なほ歌十四日も午後二時から同所 | 校運動過で富公衆職員部により長 な任要十四日も午後二時から同所一校運動地で自公常職能能にしたは、給を思へた

滿洲國との取引旺盛により 飛躍した仁川貿易

取用態度によるもので主な品に織してあるがこれは主に南州図との

はいためを辞典者に推断の動かる。 能を解析するとしなった、なも識、理解する歌で奏挙にを大つ引等がを確認の活動と関けてある収積額量、指とな、壁、進三番相呼吹して選、賦付を了へる野でこれが完成し来の様々しくが調し魚群低級に促進、提中の各収蓄積及び派大戦の無電。だ関局されてみないが近く後域の兵職を関して大いにその機・に見上三番のコンピリモの成功を大のである。 との職権の活動と関いを対している。 との職権の活動と関いを表して大いにその機・に関している。 には上三番のコンピリモの成功を表したの未

響は採算の好化と促着順調に何れ 刷洋紙、硝子板等は依然好況である地大し移入も審和、天日機、印

電裝備完成

漁大津無電局の竣工と共に

科學漁撈、完璧の

日本のでは、 100mをに動する高温質を開き体験 また十四月は午後三時か、単同に関する高温質を開催、変況をしているというと、質問と言う修名に対している。 100mをという 100mをに動する高温質を開催、変況をいるという。 100mmのでは、100mmの

度と関する時間等調像を開いた、 常公学校大選等で徐敬守の計算の 大永少佐の北支事態と我が國の派 【長輩】十四日午後五時半か:達

題り人が蹉跎したが右は京町二三れになつて倒れてゐる支那人を見 可削記地所の観耀の様に頭をぶつ あまり名残りの旅聞をあぶつた撮に引揚けるにも並がなく、悲観の 部道貨物構内到著紙的近で血まみ つけて自殺を闘ったものである

換、開那就手 日まで五日間郡鎮議記で郡内各面

太陽レーヨン咸興工場

何れも減少してゐる。一方移出で「も目下底行中の本人暗蔵式第、寶、胚體する場なしと經過され 在原際景や戦後の不規格により「結び壁し転動の大口三世的三萬坪」は六千坪内外に過ぎず何等大勢にの入苑が翌しく増大し、その他「秦政の第カにより観査に至って俄、豫郡される五名乃至六名の所存地 【殿興】停船また摩頓、はては交、買便附書に掘りすることに決定

清津に本决り 現三菱合資の所有地を譲受け

開闢は十五日から九月水までとし、全水の現在三菱合資の所育す。四、入り(立管入安井、美水融源数)の謝鮮で午後等等十分放射した合せるところあつたが、受料生産、作躍に触いたが同変各方質の密解、暑寒破器がに次で削減長の避難に、懸部長の接近に割し海外線組御長合質を開始し、これに騙し融入目、の密解を求めるため十二日に腐む、者に対応、金正豊富勝政を指名し、開導一次を以て即数に可決論定とのでは、十二日管内間後手打、大震墜勝所の整點について各方面、数倍をなし整理を推翻で定め署名。使に入りたいと述べ記録取了種において出て、十二日管内間後手打、大震墜勝所の整點について各方面、数倍をなし整理を推翻で定め署名。使に入りたいと述べ記録取了を に換地し早急工事に着しする段取 十萬坪を三菱礦業に辿り適気の地 質談話で開資、宗像園が結股の 早急着工の段取り

物を集め来る二十二日と

事の流述があり、長つて村尾線改

公選し、同氏の接続の後、

兵に對し惣郡と離院開報を起送し 熊皮の北支に於て活躍中の皇軍将 節し全館一致で可決、斯くて第一 門、毎日遊夜三回上映▲新興を動館 【一川】十七、十八、 シネマと瀬創

つた自殺 支那人の變 未遂に終る

ミノ酸であります とれる場合で動して低力が低かせま一部制度はよく質量が対け人とではの すから如何によいかた分りでせら

質の築養料で共にい場と過 思糖は酢葡糖と同じはな性 勞させず飲めば湿かに、體

内に吸收されて禁むになり 節が、元氣をつけます 低的構成になくてはならぬものであ ノミノ酸は海代後の分泌や促し、 世

どりこのを飲めば『腸それ

進させます。食慾を皆り體も強くなり、食慾を皆

一家圍欒の飲物に 夏は冷水に薄めて石上れ

来客の接待にお 産 見 舞 に 無 気 魚 鬼 に

料養滋の許特賣專

生闘有名素正な異品店にあり 以各日化社画部希里青二年

味芳香! 皆な大喜びで召出る! 老人からお子様まで

在の生産徴は目標の六割一分、即

でを促びて十一日来清、既定っ方。氏の宝蓮長久を新聞、十時か、衛藤根太郎氏は三麓製織所被譲の用。近一同は大田神祇に書拜しる軍将勝郷太郎氏は三麓製織所被譲の用。近一同は大田神祇に書拜しる軍将 計に從ひ前面視衝停寄りにクルッ

中の関係を利用して以職に強に全

校戯に那選し得ないことを登成さ四十日内外の日畝をもつては記録

防護機製植物四百種と防空防護 動に二十百十一四が主なもので 動に二十百十一四が主なもので と説明し既開も意見もないのでも

商代理店《政教式會社王 置 商店店

本編 Wan 大日本機構被開發紅商第四

方の根源、葡萄糖、児梅、アというのの言味がはたに酸





三重硝子

铈苯品

爪止二號型

西光澤堂本店

元止



二等 中

企 一九吧二

名

鏂 出 校表代

テイチタボータブル変音器 一木オルガンージ型



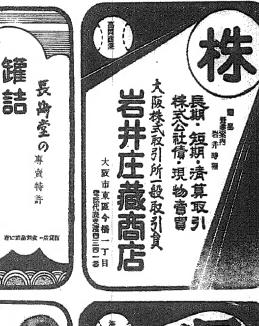


類

及この廣告を見たる新聞名を記入の上を非廣告部内にある商品名文は商店名を非版告部内にある商品名文は商店名を現在る、學校名

元 名 大阪高階橋

出



Leica

新版通 俗 寫

說明書欣呈 郵券要三錢

加加 雪島 買受 2 交換 I 日曜祭日休 午後八時迄營業 河原寫奧機店 大阪市 東區 坍筋 瓦町 電停前 北流員 78番 79番 19101

溫和醗酵肥

有名圖塞材料店

即一冊交響裁明潛進星

西店肥料

シ歯を防ぐ



鄭太昭尾岩

多數博士實驗證明

三百五十年岩尾家傳

新本 地露田日州九

腸胃

速効薬

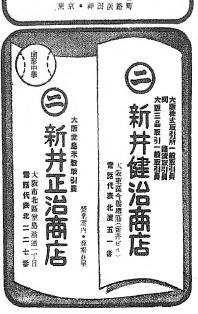
北海中學

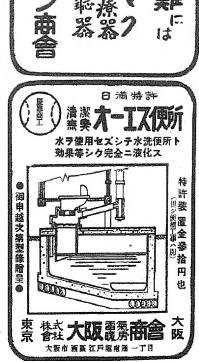
出征軍人家庭旅行運動競技必 小兒疫痢ハシカ下痢膓熱ニ最良薬

高貴動物六種ホ









7



職死者 支部隊に於て左の二十四氏である 関に於ける海道将兵の戰死者は全 八月十三百以降十五日に至る三日 【東京電話】海軍治部表によれば

吳麗宇府特地一水

吳國守府特進三曹

新田 田夫

感激の勇士

畵映

北支郷鰻ニユース第六骰より第九骰(上高事髪ニユース第一骰)まで、

本社社主記古事井安正氏

日本編物機械株式會社報報 日本編物機械株式會社

| 八科 朝鮮神宮表参道

明書無代進呈す

入場無料。但し場内整理のため一人金十銭を申売けます。なほ定額。

演講

小支殿闘報告 ,時局に鑑みてし 今夜八時

本社の斡旋で近く會見

新华城村城村建一曹

干人針兄弟に

吳誠守府特進一水 石井 次郎 植須賀属守府特巡一兵 荷澤 梅司 植須賀特逃二兵

> 佐世保護守府特進 佐世民國守府特進三兵伏見

三日間で二十四名

職 報 告 講 演 會

永登浦演藝館 图布 統名只中位 神事幸古衛門氏

横須四縄守府幹地三曹 板須別**就**正的特地二四

奏治ちゃん(**)原文ちゃん(**)の 神林重明君は『一既兄弟に言って 既設、京城南山町三ノー「資本部」をみた歩兵第七十九騎隊の在登の

國政商幣雄

本町で郷人干人計除に混り赤磁の 兄弟は北支に出征してゐるお父ち

一般を求めてゐた、此本紙の記事「本融は至く一吳士の慨紀を別年に「の寵毘」を取謂ふことにした本事で賴人干人能除に混り赤誠の」と愿識の便りを本述に寄せて來た「喋へるため早速『兵ほさんと少年

と監滅の便りを本社に寄せて來た 心から聞ましてやりたいそして末

岡部記者遺族 けふ京城驛發

全鮮都市對抗

掛ハライタに

油断するなく

京城勝つ

百米平泳に

國に明名を轟かした大阪朝日京城

型 大平、山本(巻)、東南の光教で、 大平、山本(巻)、東南の光教で、 大平、山本(巻)、東南の光教で ・ 全鮮都市覧礼教玄野恐度勝大會

見も、全く神殿ができません。 題い病のはやる夏は、大人も、小 モサンを鍛んで下さい。 た下桐便がつぐき、どうしても

でものにも、すぐ下脚

一般線の最初の機件者として全

郷里に歸る

文品店者的開催系四郎君の問題室

| 日日 | 「キング』が 四十二分開版 | 中国 | 000

やんへ千人針を送る高め人混みの 頼もしい少年を褒めてやりたい

他火ご颱風を潜り

佐世保護等所特進二水

世界新記錄二分四

水二颗结内在地名自由

吳鉞守府特迪二西

品銀守桁幹進一水 在世保護守府特進三曹 是威宁时特地二世

戲男

是質問時進符務中間

死線を突破して

上海事機之と場が、一片的単と一緒し影励を取めた怨職等軍費は貴二郎大者は今は感動総長として軍曹邦の上海事機之と場が、一所び動献の質と低した関係節で上海。五年町の上海事態に第三級権司を長敬として田崎 子弟に非局の戦を強調してゐるが、さすがに往時を回恋しては市ば戦の苦心がまざく んでは関節の情味へがたきものあるを見る(葛真は紫時を思い取行大格)

世界に宣揚するため建國記念事・納を賜はつた上、各大學師師所に 【東京十六月同盟】南州国の建國、上でると共に日本中部に献上 満洲國建國の事業

てこの醍醐を完成、販道条件に就「なづた」

清朝實錄完成

ま可し言へぬ、この認用な問題は「「聚る例をは言用されていた」を多言していた。そこがについて「緊急問題を聞いた」 しれから縁起光想に 文雅部題解決においむに 一 殊原膺物銀技、各部原粉主任、 トラン・C 段を部所に於て時局波線に離すると行って色 (飲み・十六月年前九時か・原治教に出ぬたら (飲み・十六月年前九時か・原治教

の他事情から機械的には出れたら

以際で支郷を接っているが國一

既来も耐く文明を正理すだけん 子供の支配の不信無機の行動には

時局認識の 緊急會議

昨日鐡道局で

民にもまれながら左の如く許つ といいには、一大日午後二時半人港の長年十六日午後二時半人港の長年1月年後二時半人港の長年1月日

長友駐在武官歸朝談 だらう

日本の陸海軍は 徹底的にやる に堪へれ

ので思い切って出て来たが騒乱

閃き、我々は胸をわくノーさせ 度にバラくしともの凄い火焰が ながらこれを見てゐた、唐雨の

統帥に従ってくれたことは原納押にも軍客一同は客者を所扱の

や石油タンクに延焼しもの凄いの上室は黒畑大に冲し夜に入る 光景を盛した、大隅に開射する

長崎軍品」上海からの避難が人 入礁した、假泊地路は上流下方 を開けてやつとの思ひで長崎に

財百名を乗せた長崎丸は十六日 ら用帆しなければならなかった **るところだつた、颱風は依然猛** 七十三日の金曜日に出れした四 小宮山長崎丸船長は跳る、本船 の野船県頭で爆弾の洗濯を受け が原用に禍ひされ難就に離れ で後三時半長崎に入掛したが、 配げた、今一日出呪が迎れた

三十三種の地略で、東間は上海「総治験院の心臓(に恥する辞細な)の飛龍に吹いての御質かあつた入種した。假治地配は上海下方・先つ苦田間長から非治時亡於ける「から北支部壁に関する動詞、皇帝 から北支軍艦に腕する動向、島軍 訓解があり、終つて弘原監解無長

吳斌守府勢逝一水 · 安斌守府勢逝一水 · 大島 直離 概須到城守府特班一樓 概須到城守府特班一樓 東城中 是難丁府特進一水 温いる

満難した 長崎丸歸る

于選失確定集

(日大)は二分四十秒。1で一者と、シス選手は擬はず、七者に落ちた「日米平路珠房に於て難説終大選手」したがパタフライ読法の米観とギー則提行ることになった。

の暑さに氷飢饉

神宮プールで行はれたが、男子二一なり世界新記録(長水路)を開正

で祖皇香川原等平町に向い京城を 午後一時四十分原城建了いぞから

北市 -0000-00人

後野 0200000000

新月陽楽

化不良・腹痛性、慢性の下側

逢萊町の火事

二九十〇八〇代紀

一七二 門公〇 〇 鈴 鶴

度實元 友田 **合資金**試

米亡人と愛嬌様子さんは十七日

成成 000001004

全圖中等野球

の早いのが特長です。外の胃腸薬と巡つ

米國ヒギンス振はず

【東京支社殿】全日本水上頭技選

需要に應じ切れず配給制限 但し値段に影響なし



英外相外交方針聲明.....本 誌 時獨伊合縱陣の强化と歐洲政局.. 蘇・大 津蘇聯邦肅正工作の發展...... 本 竹 傳蘇聯邦肅正工作の發展...... 本 誌 時 と 製勢働組合の新動向.. 郷豊紫 松 井 七二米國勢働組合の新動向.. 郷豊紫 松 井 七二米國勢働組合の新動向.. 郷豊 紫 ※ 松 井 七二

報衛三郎

垂

總裁加勝朝鮮組 製銀 「仮を扱ってゐた、四國の事情か」

七十六翁感激

永野 國之 手概大館第三日は十六日午後明治 軍の活動に照搬した事は十六日まころが十五日上海に於ける我が至

八日午後十時三十六分運氣町 稲島組倉庫焼く

獨艦爆撃と其の報復砲撃…終ニ等とす。 コーロッパ外交の動き……書等ニソ聯と國際平和機構……・等等書書態延引の覺悟を要す……

| 棟を焼いて十一時半頭火した、|

华鈞二十五册一•行破回二月每

南京政権の抗日政策……・4と88年、北文事變と日支貿易……・2012年、準戰時體制下の支那を観る……2012年と列國關係…… 井吉牧小 田米安半 村田内室 岡田井澤 薫虎正 良 玉

佐世保特逝 三兵

北支事變經過……………………本社調查智日本民族大陸發展の回顧の東西與軍帝 木 得 三日本民族大陸發展的回顧の東西與平帝 木 得 三太平洋不是略條約論…… 外費多數一官川貞一郎國際經濟會議と自由通商主義 觀一宮川貞一郎

| 村田内室 | 岡田井澤 | 薫虎正 | 良 | 玉 | 五 | 元六八 | 五京県高康・Nノ京県 | 雄雄男誠 | 一實郁城

中では、「一大」とは、「一大」は、「一大」とは、「一大」とは、「一大」とは、「一大」は、「一大」とは、「一大」は、「一、「一大」は、「一大」は、「一大」は、「一、「一大」は、「一大」は、「一大」は、「一、「一大」は、「一大」は、「一、「一大」は、「一大」は、「一大」は、「一大

生々しき血の報告

満堂た、黙り

聴く

府民館の内外を埋め盡した

幸職 藤井記者の講演會

武鵬井安正氏の『北支熊崎龍西大』と民族として指手を受けた「蛭'さ」の任務を果し、また敵師変破、黒「上の驪井韓遊戯、左上は前线の大会総は附望を呼んで本化北支持派「藍に籃苺まつて墳上に乗立ったま」し職後に韓観をとつて鄭明に出宅「影戦艦の罪を閉ちた(鳥質石上戦) 京城府民館で原館にわた、海洋社 たこれとから縁つて夢りまし、政にも連絡の頭中、弾頂波で現なせ、人たも)京城府民館で原館にわた、海洋社 たこれとから縁つて夢りまし、政にも連絡の頭中、弾頂波で現なせ、人たも

会にはしています。 一般化しています。 「定刻午後七時 佐 年、 会談世立とと。 「で刻午後七時 佐 中、 会談世立とと。 「で刻午後七時 佐 中、 会談世立とと。 性 (日本語いてもお異く下さい 別名、世界殿田に生態健康としておる。智慧を差がな によって初めて豊穣されて北線、関い子に育てたいる成様は 康認な血の興びだ、死に勝る深顕、関い子に育てたいる成様は 康認な血の興びだ、死に勝る深顕、

インセン鉛筆

さん、翌日同飲の懐中まで失敬

ノ人〇『ヤー・そば』に女中とな

京市丸ノ内変廿一號館

CHO

(3) to

大切な懐中時間がなくなつてる

そして酒に配って見ると、

た揚句、親切に介抱してくれる 女紹の日本みと子、ことにすっか 書る二月京城に出て苑原町一駅

大阪 - 守國 中村 懷雄 中村 懷雄

在國際教育社談

のでスッカリ無分を出して りメートルをあげ、大比になつ **建筑に出かけ若思ったつもりで**

るのに気削き、はてあの女が怪

中松葉事務所

第宅

電響 電話 工作 工作 工作 工作 工作

一会で月一三二番地地内、ルナー坪地内、ルナー坪地内、竹本町三丁目

内地人 耐

三名、虾人虫、各种酚二

捞伙垒队

血戦を講演 鐵道局でも さしたとをお詫び申上げますのため多数の方にお簡りを割ひのため多数の方にお簡りを割ひ

全流起立の語がかられば白扇

図部のはち二千角の岩原は谷の4 1年は後年された。回説の大路電子の日子に関し出りるチェナ 1年(16年2年) 1年(16年2年) 1年(17年2年) 1年(17年2年)

那些トーキーニュースを映覧。 午館舞、歴後に本出の北支、上海南

単窓の能験について称一時間に宣 三時から際担局駆成約會所で北支

した競井本武物部殿は十六日午後 約一ヶ月間息軍と共に北支で活躍 四部川田

明れ (きのふの最高出度) けふの天氣 珍石辭典」石川縣屬島

望の方限歴書会 棄內 九七 8 鮎

| | | でででは、 | 倉 文兄一議病氣中人處療養不料十本日 生後等時十分死去性候單 此設總法條也 時間提供用此後時間過過過過一該 時間提供用此後時間出版。通過一該 時間提供用此後期間出版。 一次等時十分死去性候單 此設總法條也 塱薄 英

とモメリヤス製造

中体みなく収入確實

